市民のひろば

市民伝言板

英会話サークル喜楽会

「気軽に楽しく」をモットーに、各自の体験談や社会問題に対する感想・意見を交換しています。
時毎週㈭午前９時45分～11時30分
場文化センター　¥３カ月１万5000円程度
問徳永宏さん（☎090〈9262〉6512）

市スキー連盟野沢スキー教室

時３月22日㈮午後８時～24日㈰午後９時頃　場野沢温泉スキー場（長野県）　定40人（先着順）　¥小学生以下➡２万円　中学・高校生➡２万1000円　大人➡２万2000円
申３月６日㈬から和田スポーツ（今池町／☎〈97〉0279）へ

安城歌謡同好会会員募集

カラオケが好きな人を募集しています。みなさん遊びに来てください。
時毎月第３㈰午後１時30分～４時30分　場ＪＡあいち中央安城南支店（和泉町）　¥月額400円
問水野博明さん（☎〈75〉7226）

弥生写真展

写真を愛する５人の仲間が、個性豊かな作品約50点を展示。
時３月26日㈫～31日㈰午前９時～午後５時（26日は午前11時から、31日は午後３時まで）　場市民ギャラリー　問井野口菊男さん（☎090〈4215〉0801）

シャンソン発表会

西尾シャンソンサークルの10周年発表会と青山桂子氏のライブ。
時３月８日㈮　開場➡午後０時30分　開演➡午後１時　場ホテルグランドティアラ安城（三河安城南町）
¥1000円（前売り券のみ）　問恒川寿美子さん（☎0563〈54〉3151）

山本昌子ちぎり絵展

花や風景など、和紙ちぎり絵作品約50点を展示します。
時３月29日㈮～31日㈰午前９時30分～午後５時（31日は午後４時まで）　場文化センター
問山本昌子さん（☎〈76〉5881）

合同表装展

公民館活動で掛け軸を作っている、７グループの表装展です。
時３月15日㈮～17日㈰午前９時～午後５時（15日は午前11時から、17日は午後４時まで）　場市民ギャラリー
問内藤學さん（☎〈76〉0155）

親子でリトミック参加者募集

親子のふれあいを大切に、楽しく音楽を始めませんか？
時月３回㈫の午前中45分間　場中部公民館　対１歳～３歳の子とその保護者　¥月額2500円
問木島由美子さん（☎090〈9943〉0968）

NORIさん原点回帰ライブ

フォーク・ロック・童謡を、ギター１本で弾き語ります。
時３月16日㈯午後１時30分～３時・７時～８時30分　場あんぐるＣａｆｅ（朝日町）　¥各100円（小学生以下無料）
問岡本典男さん（☎〈99〉7955）

注意事項

サークル会員の募集やイベント情報を掲載するコーナーです。
申し込み方法➡掲載月の３カ月前の１日（㈯㈰㈷㈷の場合は、その翌開庁日）午前９時から電話で広報広聴係（☎〈71〉2202）へ
※先着順。ただし、過去に掲載されていない団体を優先します。７月１日号の受け付けは４月１日㈪からです。掲載するには注意事項があります。詳細は同係まで問い合わせてください。

時とき　場ところ　内内容　講講師
対対象　定定員・募集人数
¥会費・入場料など　他その他
申申し込み方法など　問問い合わせ先

わたしの望遠郷

北海道札幌市

藤田さんとお子さんの幸誠くん

私の故郷は、さっぽろ雪まつりで有名な北海道札幌市です。12歳から20歳までの８年間を過ごしました。

北海道では、トウモロコシのことをトウキビと言います。札幌市中心部にある大通公園には、トウキビ屋台があります。買い物などで近くに行ったときは、焼きトウキビをよく食べていました。とても甘くて美味しかったです。

札幌市は雪がたくさん降るので、初めは戸惑うことばかりでした。引っ越し当日に自宅へ着くと、家は雪に埋もれていて、幼かった私はすごい所に来たと思いました。冬の道路は、除雪された雪が車道と歩道の間に積み上がり、ときには身長よりも高くなることもあります。外は寒いけれど、家の中はとても暖か。友達のお母さんが、半袖で生活していたのには驚きました。

子どもたちを冬の札幌に連れて行くと、雪を見て大喜び。雪で大変だった生活も、今ではいい思い出です。

藤田靖子さん（和泉町）

除雪作業の様子　提供：札幌市

ほっとタイ夢

夢は篆刻の魅力を伝えること

石川桂さん（井杭山町）

石や木などに、篆書の字を彫り、印を作る篆刻。石川さんは、梨の里小学校児童の卒業記念に、２年前から自作の印を贈っています。

印は１人１本、それぞれの名前を彫ったものを作ります。今年の卒業生は76人。完成には40日くらいかかり、作業中に手が痛くなることもあります。それでも、どんな子か想像しながら名前を彫る作業は、子どもたちとつながることができる時間。印を渡すときに会うのが、とても楽しみなんです。

夢は、篆刻の魅力を伝えること。篆刻では、作品に味を出すため、文字をわざと欠けさせることもあります。一般になじみのない篆書を使うからこそ、字のうまい下手ではなく、自分にしかできない個性的な作品を作ることができます。卒業する子どもたちにも、「個性を大事に成長して欲しい」と、思いを込めて印を贈っています。

小学校やシルバーカレッジで篆刻を教えています。篆刻が縁で、たくさんの人と出会えることが楽しいです。これからも、この手が動く限り、たくさんの人に篆刻の魅力を伝えていきたいです。

１本１本手作業で彫ります

「わたしの望遠郷」、「ほっとタイ夢」コーナーでは、市民の皆さんからの投稿をお待ちしています。詳しくは、電話で秘書課広報広聴係（☎〈71〉2202）へ。掲載者には記念品を差し上げます。